

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	ゆりかご保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成20年 2月 28日

総 評	<p>阪急長岡天神駅から徒歩5分のところに位置するゆりかご保育園は、定員60名、入所対象児0歳児～3歳の保育園です。小規模保育園ならではの家庭的な雰囲気と「子どものための最善の利益の追求」という保育理念の下、子どもたちはのびのびと園生活を送っています。</p> <p>また、子育て家庭への支援策として、19時30分までの延長保育や一時保育、休日保育を実施しています。</p> <p>管理者は課題の改善や子育て支援策の推進に意欲があり、職員もまた保育の質の向上に熱意を持っていることから、管理者と職員の日常的なコミュニケーションを活性化することで、ますます高まりつつある保育所の社会的責任を全うする組織力の向上へつなげることができるでしょう。</p> <p>総じて、乳児中心の園ならではの子どもの個人差や日々の状況に応じたきめ細やかな保育実践がなされています。今後もその特性を活かした地域の児童福祉の拠点としての活躍が期待されます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳児・低年齢児中心の施設であり、保育士の言葉がけや子どもに対する対応はとても丁寧で細やかです。子どもを温かく受容しており、子どもたちは安心して活動しています。 ● 一時保育は、長岡京市で唯一、休日実施をしています。平日は0歳～3歳、土・日曜日は0歳児から5歳児が対象です。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 園運営にかかわる業務の基準となるマニュアルなどの整備をすると尚良いでしょう。園長、主任、各担当との日常的な意見・情報交換をもとに、現在の実践を組織全体で整理すると良いでしょう。 ● 子育てに関する保護者と保育士等の連携と協働を深めるために、現状では希望者のみとなっている保護者個人面談を定期的に全員実施にし、その他は希望に応じて対応すると尚良いでしょう。 ● 障害児保育を実施すると尚良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	ゆりかご保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成20年2月28日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	B	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	B	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	B
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	C	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	C	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

【自由記述欄】

・理念・基本方針は、作成されています。年度始めの職員会議で唱和し、職員全員が理念と基本方針の理解を深めるように努めています。保護者に対しては、入園時に配布される園のしおりに明示されていますが、園の理念を保護者や地域の住民へより深く理解してもらえるためにも、しおりをもとに説明会を実施したり、保育室や掲示板などに掲示されることを望みます。

・事業計画は策定されており、計画内容は策定後に職員会議で周知しています。事業計画の策定について、理事長・園長などの経営方針が反映されたものとなっていますが、職員会議などの現場からの意見等を反映し、組織全体にとってより有効な計画策定を実施されると尚良いでしょう。

・園長は、月1回の全体職員会議やリーダー会議を実施しています。主任は毎朝、事務担当者との連絡会を実施すると共に現場に入り、各職員の日々の業務を把握するよう努めています。行政からの法令等は職員間で回覧しており、周知する取り組みがあります。今後は、組織図・職務分担表などを作成し、全体の業務把握に努め、園長、主任と各担当との意見・情報交換をさらに深め、組織全体で保育の質の向上に向けて取り組まれることを望みます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	C	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	C	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	B	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	C	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		B	B	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		C	A	

【自由記述欄】

・園長は、事業経営をとりまく環境を把握するように努めています。地域の自治会長と連絡会を設け、地域の子育てニーズに対する情報を収集しており、平日・休日の一時保育や、園バスの運行、育児相談等の取り組みも実施しています。

・人事考課は、現在実施されていません。年度末に全職員を対象に園長との面談を実施し、次年度の体制に対する要望や意見を汲み取るようにしています。また、園内研修として人権研修や労務管理士によるコーチングを隔月で実施し、職員の自発的な行動を促進させるための取り組みを行っています。研修報告書は、職員間で回覧し情報を共有出来るように努めています。今後は、研修報告書の評価・分析を定期的に行い、個別の研修計画等を作成し保育に反映されるようなおよいでしょう。

・実習生に関しては、受け入れに対する意義・方針を明文化していますが、近年実際の受け入れがありません。保育士養成校に働きかけるなど積極的な受け入れを目指すようなおよいでしょう。

・玄関は、ICカードによる施錠管理や防犯カメラを設置し、園児の安全確保に努めています。事故発生時の対応マニュアルも整備し、対応手順や関係機関への通報手順を各保育室に掲示しており、全職員が迅速に対応するよう努めています。今後は、事故防止のための園内環境に対するチェックリスト等を作成活用されるようなおよいでしょう。

・地域の子育て家庭を対象に月2回の園庭開放や育児・子育て相談、一時保育を行っています。一時保育は、平日及び土日とも実施し、土日に関しては、0歳児から5歳児まで受け入れしています。また、定期的に地域の自治会長との連絡会や長岡京市長に対してありがたい気持ちを伝える子ども達による市役所訪問などを実施しています。

・地域の関係機関や団体などの連絡リストを作成しており、必要に応じて病院・自治会・市役所等との連携を図っています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	B	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	B	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	C	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	C	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			C	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	C	B	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	B	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	C	B	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	C	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	C	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	C	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	C	A	

【自由記述欄】

・保護者に対してクラス懇談会の他に、不定期での保護者アンケート、年2回の地域の人々も交えた意見交流会を実施しています。意見交流会の内容は記録し、その内容及び返答を保護者に公表しています。苦情解決の仕組みは整備されていますが、今後の継続的な取り組みが望まれます。現在不定期実施の保護者アンケートを定期的な実施とし、その内容を保護者へフィードバックするとなおよいでしょう。

・保育カリキュラム会議を毎週開き、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っています。また、園内に評価委員会を設置し、職員による自己評価を実施していますが、今後は、明確になった課題などに対する改善策を組織的に策定し、PDCA(計画、実行、評価、改善)サイクルにて実行されるとよいでしょう。

・各々の保育場面に対し標準的な実施方法を定めています。また、保育カリキュラム会議等で職員や保護者等からの意見に基づいて、見直しや改善も随時行っています。今後は、見直しや改善内容を記録するとともに、マニュアル等に反映されるとなおよいでしょう。

・保育の記録は、子ども一人ひとりについて統一した方法で記録・整備されています。職員間での子どもの状況等に関する情報を会議等で報告し、共有出来るようにしています。

・子どもの身体状況や生活状況を、園児調査票や観察記録で適切に記録・管理しています。また、個別対応を要する園児については報告書を手順に沿って作成し、子ども一人ひとりの状況にあわせて対応しています。サービス実施計画についても意味の取り違えから自己評価はCとなっていました。指導計画を通じて適切に策定、評価、作成、見直しを図られていることが確認できました。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	ゆりかご保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成20年2月28日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	B	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	B	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

・保育計画が保育の基本方針に基づいて作成されており、非常勤の保育士も含めた全職員で立案に携わっています。

・登園時や保育中の子どもの健康管理に関するマニュアルを作成しています。また、行政からの感染症等に関する連絡も園内に掲示し、保護者へ注意喚起を促すようにしています。また、看護師が常勤しており保育中のケガや発熱等の発生に対処できるようにしています。

・健康診断結果は内科健診、歯科健診とも記録されており、全職員に周知し保育に反映するよう努めています。

・クッキング保育では、園の畑で収穫した作物を使用し、食事を楽しむことが出来るよう工夫しています。

・調理師が給食時に全クラスをまわって確認し、子どもの喫食状況を把握するよう努めています。給食だよりや給食レシピを保護者に配布し、園での食事に興味を持ってもらえる工夫を行っています。お誕生日会では給食試食会を開き、保護者の意見交換を行い、味付け等に生かすようにしています。アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、医師の指示を得て除去食を提供しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	B	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	B	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	B	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	非該当	非該当

【自由記述欄】

・各保育室に、衛生マニュアルが掲示されており清掃を徹底しています。トイレは、清掃チェック表があり清潔に保たれています。保育室は、清潔に保たれていますが、季節に合わせて飾りや自然物などを取り入れるとなおよいでしょう。

・4歳未満児中心の施設であり、保育士の言葉かけや子どもに対する対応はとても丁寧で細やかです。子どもを温かく受容しており、子どもたちは安心して活動しています。年1回、移動動物園を園にて実施し、子どもと動物との触れ合い体験を行っています。3歳児は毎週の散歩を通じて、交番や商店街等の身近な社会と関わる機会を持っています。

・職員は一人ひとりの子ども達をきめ細やかに保育しています。園内研修では、人権研修やコーチング研修などを実施しており、職員の資質向上に努めています。

・現在、障害児保育は実施していません。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	B
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	C	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	B	B
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	C	B
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	B	A
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	B	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

【自由記述欄】

・子育てに関する保護者と保育士等の連携と協働を深めるために、現状では希望者のみとなっている保護者個人面談を定期的に全員実施にし、その他は希望に応じて対応するとおよいでしょう。懇談の内容や家庭の状況は、適切に記録されています。

・一時保育への対応は、専用保育室と担当職員を配置して行っています。通常保育の子ども達との交流にも配慮しており、運動会などの行事にも参加することが出来ます。土日曜日は0歳児から5歳児を対象に一時保育を実施しています。

・調理場は、衛生管理マニュアルに基づいて清潔に保たれています。食中毒に関するマニュアルも整備し、それに沿った対応を行っています。